

ワクチン調製の手順書

◆体育館に到着したら

- 1、荷物は奥の机に置く
- 2、トイレを済ませ、肘から先を洗う
- 3、肘から先を消毒→新しいマスク→ガウン→キャップ→手指消毒→手袋はめる→手指消毒
- 4、調製場所を広範囲に消毒用エタノールで清拭・消毒する

◆調製の前に

- 1、リーダーの業務（市職員と進捗状況のやり取りをする、最後に在庫管理表等に記入する）
- 2、当日の接種人数を確認し、人数分のワクチンが解凍されていることを確認する。（1V=5 人分）
- 3、各トレイにキムタオルを置いておく（後にタオルの間にワクチンを挟むため）

希釈担当 1 人、採取担当 2 人で調製する場合

◆ワクチン調製～生食 1.8mL で希釈～

- ① バイアルをゆっくりと 10 回転倒混和する。（振り混ぜない）
- ② バイアルのキャップを除去してゴム栓部分をアルコール綿で清拭・消毒。20mL 生食の開栓部をアルコール綿で消毒したのち、開栓する。
- ③ シリンジに生食を 1.8mL、正確に計量し、他者に確認してもらう。（目盛りの誤差の範囲で正確に）
- ④ バイアルを下にしてゴム栓中央に穿刺し、針が薬液に触れない位置でバイアルに生食 1.8mL を注入する。1.8mL の空気を吸ってから抜針し、トレイに置く。

◆ワクチン調製～接種用シリンジ 0.3mL の調製～

- ① バイアルをゆっくりと 10 回転倒混和する。バイアル液中に異物や変色がないことを確認する（目視確認。白色の均一な液になる）。
- ② バイアルのゴム栓部分を、アルコール綿で清拭・消毒。
- ③ シリンジに 0.3mL の空気を吸ってからバイアルゴム栓の中央より外側に穿刺。穿刺場所は、毎回変更し、同じ場所に穿刺しない（コアリング防止のため）。
- ④ バイアルを上にして、シリンジ内の 0.3mL の空気をゆっくりバイアルに注入する（薬液は泡立ちにくい）。薬液を 0.1～0.2mL 吸ってから（0.3mL の目盛りを超えないこと）薬液をバイアルに戻して、シリンジ内の空気を除去する。0.3mL を正確に計量したのち、抜針する。
- ⑤ シリンジにリキャップする。
- ⑥ 液中に異物や変色がないことを確認する（目視確認）。
- ⑦ 0.3mL 採取したシリンジはトレイの上のキムタオルに挟み遮光する。
- ⑧ 採取済みのバイアルは当日終了後廃棄するため、まとめて置いておく。

◆払い出し

- 1、ある程度の本数で監査をしてトレイに置いておき、ワクチンを運搬してくれる職員に渡す。
(監査は、異物が混入していないか、0.3mL 取れているかを見る。)
- 2、払い出す際はトレイごと渡す。(LOT が切り替わる場合、区別して渡す)

◆終了後

- 1、調製済みバイアルの数を確認し、黒板近くの机にあるワクチンの在庫管理表に記入する。
- 2、針、バイアルは黄色の感染性医療廃棄物 BOX に入れる。
- 3、各自のゴミ袋は燃えないゴミの箱に入れる。(分別無し)